

仙南歯科医師会だより 第17号

いつも会務に御協力頂き有難うございます。この度の台風19号の被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。会として対応すべきは①情報収集②会員救援③住民への医療救護でした。目黒副会長をはじめ小屋専務、宮齒山崎医療救護班長など皆様の御協力により①②③ともに何とか対応はしましたが反省点が多いのも否めません。①②③ともにいったい地区会がどこまでかかわるのか個人の活動、宮齒本部との連携などもう一度見直して今後につなげて行かねばならないと考えております。そのような中、今回の避難所医療救護活動に関しまして1日間の募集で12名の先生方が手を挙げて下さいました。厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。どのような活動をするにしてもこのような「なんとかしてあげたいんだ」と言う心がすべての根源であることは間違いありません。今後とも何かある時には多くの会員が手を挙げて下さるような素晴らしい会であり続けるように祈念しておりますし、また、そうある為に結束力を高めて行きたいと考えております。今後とも宜しく願いいたします。

仙南歯科医師会 会長 玉野井 修

令和元年度 第8回 仙南歯科医師会役員会 議事録

令和元年 11月5日

於：中核病院2F 会議室

会長	副会長	副会長	専務	常務	常務	会計	医療安全・厚生	地域保健	学術	在宅歯科
玉野井	目黒	千木良	小屋	小田部(晃)	井上	佐藤(郁)	小田部(晃)	飯淵(信)	榊原	武者
○	○	○	○	○	○	○	○兼務	○	○	○

社保	総務	総務	総務	学校歯科	広報	監事	監事	オブザーバー
森	後藤(拓)	菅野(真)	伊藤(利)	谷津×	小田部(岳)	小野	遠藤	山崎
○	○	○	○	代行 西村○	○	○	○	×

次第

1. 開会 専務理事 小屋 博
2. 挨拶 会長 玉野井 修

台風19号で亡くなった方々のご冥福をお祈りいたします。また、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。今回、仙南歯科医師会としてうまく動けなかったのが、対応等について後程協議をお願い致します。

3. 各支部報告

①柴田：10/23 定例会の報告。

②白石：10/16 役員会の報告、11/12 白刈地区学校保健会の研修会についての周知、県議選に際し安藤候補の事務所を訪問したことを報告。

③角田：10/20 角田保健福祉まつり・丸森健康と福祉のつどいの中止を報告（台風19号の被害の影響のため）。

4. 協議

1) 台風 19 号被害対策について (歯科医師会の対応、見舞金について)

仙南地区の被害状況・支部の対応について報告 (P7~10)

大規模災害対策本部が機能していなかった (立ち上げるべきだった) との反省があった (玉野井先生)。

今後は (同様の災害発生時)、対策本部を早く立ち上げる、宮歯本部と連携する、といった意見が出た。

被災会員へのお見舞金は、会則に則り (1 万~5 万円) 検討することになった。

塩釜歯科医師会よりお見舞金 10 万円を頂いたと報告があった。

2) **令和元年第 2 回定例会**に向けて

次第案 (P15)、内容などを確認。12/18 (水) 18 時、**舞鶴会館**で忘年会を兼ねる。協議題は、1) 大規模災害に対する対策、2) 今後の会務運営、予算について。

定例会議長は、各理事が順番に務めることで、役員一同承認。12/18 は小田部 (晃) 先生が担当。

3) 新年会について

(P16) 招待者リストを確認。12 月頭に招待状を郵送予定。

4) 厚生事業について (ボウリング大会)

・**ボウリング大会** : 台風で被災した会員もいるが、**予定通り開催する**事で、役員一同承認。

・**医療安全講習会** : 11/20 (水) **開催**。終了証を発行する。

5) 今後の会務運営、予算について

台風 19 号被害の対応に追われていたため、支部長専務会未開催。今回は保留。

6) その他

(玉野井先生) : 国保支部長会で**歯科医師国保の給付制限について新たな案が検討**されている事を報告 (給付制限を拡大する案、P14)。

(菅野) : 施設協力医の依頼があり、その対応について。

→柴田支部での同様のケースを参考とする事となった。

(菅野) : 税務講習会の進行について

→例年と違うので、気仙沼歯科医師会のやり方を参考とする事となった。

5. 報告

1) 会長 (玉野井先生) :

国保支部長会、**保健所立ち入り検査は今年度の予定は来年 4、5 月に延期**、11/21 宮歯役員報酬審議会参加予定、桜井充報告会、11/17 地域医療学会予定、11/13 地域医療構想の会議に出席予定、柘議員よりお礼があった件、**村上健先生より退会の挨拶文を頂いた**件を報告。

2) 副会長 (目黒先生) : 連盟関連で、10/20 県議会選挙は仙南は無投票だったと報告。

3) 宮歯理事 (小田部 (晃) 先生) : (P21) 第 7 回・第 8 回理事会について報告。

4) 宮歯常務理事

(小田部 (岳) 先生) : 予防さん着ぐるみについて希望者があればとのことだったが、希望者なし。

5) 専務理事 (小屋先生) : (P1~3) 会務報告。年賀状ソフトを購入する旨、報告。

6) 委員会

学術 (榊原先生) : 生涯研修セミナーの冊子貸し出しについて。**11/30 学術講演会予定**、11/30-12/1 東北地区歯科医学会予定について報告。

地域保健 (飯淵先生) : 来年度の歯と口の健康週間大会 (村田) は 6/6 もしくは 6/13 予定。時間は 13 : 30~16 : 00 を予定。

社保 (森先生) : **12/5 新規指導**、更新時指導の通知が来たと報告。

学校歯科 (西村先生) : (P17) 表彰者一覧、P18-20 に各地区別 (学校別) 健診データを報告。

在宅歯科 (武者先生) : 9/30 委員会開催報告、11/20 多職種連携の会について周知。ポータブル X 線装

置故障中のため見積もりを出している旨報告。オーラルフレイルハンドブックの周知。

会計（佐藤（郁）先生）：**上半期の会計は、11/20 監査**を行ってもらう予定。

広報（小田部（岳）先生）：地区担当者会に後藤先生が代理出席。

7) その他

（千木良先生）：医療管理部会より、10/27 の研修会の報告。

（玉野井先生）：被災者の窓口負担金の対応について、自治体によって違いがあるようなので、確認することになった（白石の対応について）。

6. その他

役員会の会場について、1月より研修室に戻す事となった。

7. 監事講評 監事 小野 貴志夫

仙南歯科医師会と宮歯の台風被害報告の数が不一致。確認を。

8. 閉会 副会長 目黒 一美

活発な意見が多く出ました。皆様ご自愛ください。

（議事録 菅野真人）

編集後記

10月12日の記録的な水害から既に1ヵ月が経過しました。まだ200名を超える人々が避難所での生活を余儀なくされている状況が続いておりますが、この間玉野井会長、小屋専務をはじめ、丸森町に駆け付けてくださった先生方、またその意思を表明してくださった仙南歯科医師会の先生方には心から感謝と敬意を表します。

発災から被災地の歯科医師として何をすべきか、何ができるのか自問自答の日々でしたが、そんな中、仙南歯科医師会の会員である宮城県歯科医師会大規模災害医療救護班長の山崎先生には多くの示唆とご教示をいただきました。

48時間の限られた時間の中で救命活動をされるDMAT、その後避難所での急病者の救護活動を行うJMATまでは災害救助法に基づくルーティンな災害医療ですが今回宮城県の要請を取り付け、この法律を根拠に歯科医療救護が実施されたのは山崎班長のご功績だろうと思います。避難所では被災により義歯を紛失した人や、咀嚼や嚥下機能に問題がある方にも初期には分け隔てなく噛みにくい飲み込みにくい食物が提供されます。その結果災害関連死の3割以上が誤嚥性肺炎であるという報告もあります。災害により失われそうな命を拾い上げるのがDMAT、JMATの役目とすれば、助かった命を支えるのが歯科医療救護の役割であることを痛感しました。災害救助法、災害対策基本法、被災者生活再建支援法にはこの歯科医療救護の概念が大きく欠如しています。今後はこの改善に体験者として微力を尽くしてまいりたいと考えています。仙南歯科医師会の会員の皆様には今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

目黒 一美 記